

第 66 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2020. 8. 4

『ダブロック錠 1mg/2mg/4mg/6mg』

協和キリン株式会社 吉田 豊さん

場所：コンパス薬局藤沢

参加者： 沢先生、内科職員さん、味田村俊次、木村亜希子、鈴木里菜、吉井智子、
清田好美、隅山穂子、鈴木亜湖、小林昌美、熊山ともみ

【効能・効果】

腎性貧血

【用法・用量】

1. 保存期慢性腎臓病患者

赤血球造血刺激因子製剤で未治療の場合

通常、成人にはダプロデュスタットとして1回 2mg 又は 4mg を開始用量とし、1日1回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は1日1回 24mg までとする。

赤血球造血刺激因子製剤から切り替える場合

通常、成人にはダプロデュスタットとして1回 4mg を開始用量とし、1日1回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は1日1回 24mg までとする。

2. 透析患者

通常、成人にはダプロデュスタットとして1回 4mg を開始用量とし、1日1回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は1日1回 24mg までとする。

【禁忌】

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副作用】

重大な副作用

血栓塞栓症 (0.8%)

脳梗塞 (0.3%)、肺塞栓症 (0.3%)、網膜静脈閉塞 (0.3%)、深部静脈血栓症 (0.3%)、バスキュラーアクセス血栓症 (シャント閉塞等) (頻度不明) 等の血栓塞栓症があらわれることがある。

【特徴】

- ・ HIF 活性化薬（HIF-PH 阻害薬）に分類されている薬剤で、EPO の産生促進、鉄の吸収促進、トランスフェリンの取り込み促進等によって赤血球の成熟・分化が促進される。
- ・ 「透析期」と「保存期」、共に使用可能。
- ・ 鉄代謝を改善する作用あり。

【考察】

腎性貧血治療薬が直近で 4~5 製剤ほど上市された。今までは EPO 製剤で注射剤のみであったが、内服で治療できることで利便性、安全性が向上すると考えられる。他剤に比べて細かい用量調節ができ、Hb 値の微調整ができること、併用注意の薬剤が少ないことが有用と考える。今まで注射剤で治療されてきた患者さまに対しては、内服することにより精神的なストレスを軽減することはできるが、飲み忘れ、薬の保存・管理などに注意が必要だ。

【Q&A】

- ・ 飲み忘れ時は？
検査値に影響を及ぼすこと少ないので、1 回スキップして、1 度に 2 錠服用しないこと。